

# 在日香港人の現在 国家安全維持法 1 年

中日新聞 浅井正智

## 1 2019 年デモの経過

### ◆運動当初(6 月中)は穏健なデモ

反中スローガンもほとんどなし



1 週間もたたないうちに条例案は事実上の棚上げに

しかしデモはやまず

### ◆転機は 7 月 1 日返還記念日

デモ隊の立法会占拠、破壊活動

以後デモの過激化 五大要求に「真の普通選挙」が入る

### ◆条例改正運動から反政権闘争へ

非妥協的な闘争 リーダー不在で出口戦略描けず 籠城戦という戦術ミス 活動家の大量逮捕



活動は尻すぼみに

## 2 在日香港人の現在

### ◆日本でも国安法におびえる

デモ参加時や取材時も、個人を特定されることを恐れる

何が犯罪かあいまい 国安法が海外での行為にも適用される

在日香港人組織も国安法施行後はメンバーが集まらず

日本人の香港問題への関心の薄さに失望

### ◆在日香港人が求めていること

マグニツキー法の制定 議連も発足

香港から脱出したい人の積極的な受け入れ

国安法に関しては、刑事共助協定に基づく協力拒否を

### ◆香港への支援

対中政策に関する列国議会連盟 (IPAC) から、対中政策に関する国会議員連盟 (JPAC)、日本の「香港から市民参加の政治を考える自治体議員連盟」 (Pomelo) まで各レベルで支援

### ◆今後は？

海外拠点の抵抗運動へ 組織の規模が小さく、ウイグル人など他の少数民族との連携不可欠 国際社会の長期的関与がカギ